

きょうせい

No.21

令和5年8月発行

環境と人の共生

発行／公益財団法人とやま環境財団



理事長あいさつ

公益財団法人とやま環境財団
理事長 麦野 英順

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から当財団の運営や事業の推進に多大なご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、気候変動問題は今や「気候危機」とも言われており、私たち一人ひとり、地球に生きる全ての生き物にとっても避けることができない、喫緊の課題です。既に世界的にも平均気温の上昇、雪氷の融解、海面水位の上昇が観測され、日本においても大雨、台風等による被害、農作物や生態系への影響等が観測されています。

こうした中、当財団の今年度の事業では、新たに県民・事業者の皆様を対象とした再生可能エネルギーの導入を支援する取組みを始めるほか、地域スポーツチームと連携した「脱炭素につながる豊かな暮らし」

の啓発、食品ロス削減の取組支援、幼児・児童向けの環境教育や県下全域での清掃活動を展開することとしております。

また、今年度から富山県が設定した「カーボンニュートラル推進月間」の10月には、4年ぶりに大規模会場において「とやま環境フェア2023」を開催することとしております。企業・団体の脱炭素・環境保全の取組みや製品・サービスを見聞でき、体感・体験を通じて環境の大切さを学ぶことができる出展ブースや来場者が楽しく参加できるステージイベントを実施することとしております。県民の皆様にはぜひ、お誘いあわせのうえ、ご参加くださるようお願いいたします。

当財団としましては、県や市町村、関係団体と連携し、持続可能な社会づくりに向けて、地域に根差した環境保全活動の充実・強化に努め、県民の皆様の豊かな暮らしやwell-beingの向上に繋げていきたいと考えておりますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

とやま環境財団の主な事業

県民やNPO法人・団体、企業、行政等との連携・協働により、引き続き、県土美化、自然環境の保全など身近な問題に取り組み、環境保全活動をより一層推進します。

また、カーボンニュートラルの推進や、プラスチック資源循環、食品ロス削減をはじめとする資源の効率的な利用の促進など、持続可能な社会の実現に向けた活動を積極的に展開します。

協働推進事業

環境とやま県民会議
 県土美化推進県民会議の運営
 みんなできれいにせんまいけ
 大作戦の展開
 市町村との環境パートナーシップの推進
 食品ロス削減、豊かな地下水保全の推進 など



環境教育推進事業

とやま環境未来チャレンジ 10
 はじめてのエコライフ教室の開催
 こどもエコクラブの支援
 立山等での自然解説の実施 など



普及・啓発事業

「とやま環境フェア」の開催
 環境保全に関する相談事業
 「とやまエコ通信」・
 「エコノワとやま」による
 情報発信



地球温暖化対策 推進事業

地球温暖化防止活動推進センターの運営
 地球温暖化防止活動推進員の養成
 ④脱炭素経営の支援
 ⑤再生可能エネルギー導入の支援 など

エコアクション 21 地域事務局事業

エコアクション 21 認証・
 登録業務の運営
 自治体と連携した認証サポート
 セミナーの開催 など



とやま環境フェア 2023 (富山県、高岡市、環境とやま県民会議と共催) 4年ぶりの大規模リアル開催!

サステナブル(=持続可能)な社会づくりに向けた企業・団体等の取組みを紹介するブース出展のほか、ゼロカーボンアクションや3R・プラスチック資源循環、食品ロス削減の取組みなどエコライフについて、楽しみながら見聞・体験するイベントを開催。

- 期 日** 令和5年10月14日(土)、15日(日)
- 場 所** 高岡テクノドーム
- 内 容** 企業・団体等によるブース出展、体験イベント・コーナーの設置等



詳しい内容は、とやま環境財団HP、
 Twitter、Facebookなどで
 9月中旬に発信!



Facebook : Twitter フォローお願いします!

富山県県土美化推進県民会議からのお知らせ

「すすめよう ごみのない美しいまちづくり」



4月20日(木) サンシップ(富山県総合福祉会館)において県土美化推進県民会議総会が開催されました。

来賓祝辞に続いて、県土美化功労者の表彰が行われました。受賞者の皆様には、お祝い申し上げますとともに、率先した県土美化の実践に対して、敬意を表します。

また、総会では、今年度の広報啓発活動の取組みのほか、

- 富山県と石川県で共同開催するG7教育大臣会合に向けた会場付近での清掃活動の実施
 - 上流域である岐阜県と連携した清掃活動の実施
 - 廃プラスチックの排出やリサイクルに関する情報を掲載した支援サイトを構築
- など取組みの説明があり、了承されました。

詳しくはこちら▶
令和5年度県土美化推進
運動実施要領



富山県知事表彰

- 針原地区高砂連合会 様 (富山市)
- 安靖氷見共同作業所はーとふる安靖 様 (氷見市)
- 富山たばこ販売共同組合高岡支部 様 (射水市)
- 南太閤山長寿会 様 (射水市)

富山県県土美化推進会議会長表彰

- 梨木 光男 様 (氷見市)
- 北浦 保男 様 (小矢部市)
- 川原 智子 様 (南砺市)
- 特別非営利活動法人安全企画センター (富山市)
- 金山新桜ヶ丘町内会 様 (富山市)
- 富山市老人クラブ連合会 様 (富山市)
- 高岡ライオンズクラブ 様 (高岡市)
- 黒部市立清明中学校様 (黒部市)
- 花水木の会 様 (小矢部市)
- 南砺市岩屋自治振興会 様 (南砺市)
- 福野北部長寿会 様 (南砺市)

受賞者の皆さまおめでとうございます。
今後とも、「ごみのない美しいまちづくり」に向けた取組み、よろしくお願いいたします。

「みんなできれいにせんまいけ大作戦2023」展開中!

今年も県内各市町村で清掃活動が行われます。友達や家族、職場の仲間に参加してね。

みんなできれいにせんまいけ大作戦 2023

実施期間: 5月 → 9月

身近なゴミ拾いで「世界で最も美しい富山湾を守ろう!」

18割以上達成!

～「とやま海ごみボランティア部」メンバー募集中!～

県内の清掃活動に参加しよう!

富山県内各自治体の清掃活動日程表

参加にあたっての注意事項

とやま海ごみボランティア部
メンバー募集中してまーす!

詳しくはこちら→
<https://www.pref.toyama.jp/1705/kurashi/kankyoushizen/kankyou/senmaike/230510.html>



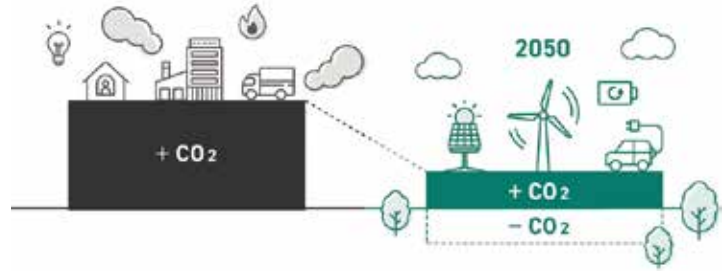
富山県カーボンニュートラル戦略の策定について



富山県では、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、適時適切な手段を選択しつつ、富山県のさらなる成長につなげるため、2030年度までの取組みを描く「富山県カーボンニュートラル戦略」を令和5年3月31日に策定しました。

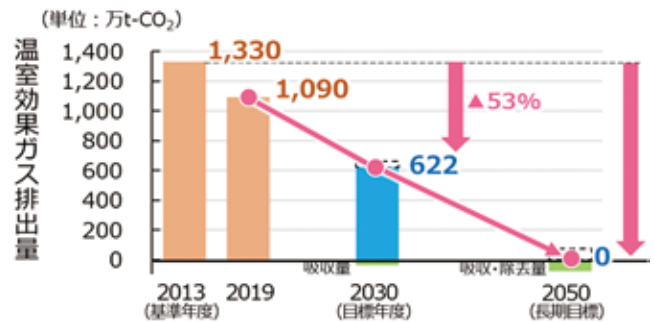
カーボンニュートラルとは

温室効果ガス（二酸化炭素（CO₂）、メタン、フロンガスなど）の排出量から、森林などによる吸収・除去量を差し引き、合計をゼロにすること。まずはCO₂排出量の大幅減が重要です。



戦略の目標（2030年度）

- 温室効果ガス排出量：53%減（2013年度比）
- 最終エネルギー消費量：27%減（2013年度比）
- 再エネ電力：846GWh導入（2020年度比）



重点施策【富山県の特徴を踏まえた取組み】

脱炭素経営の導入促進

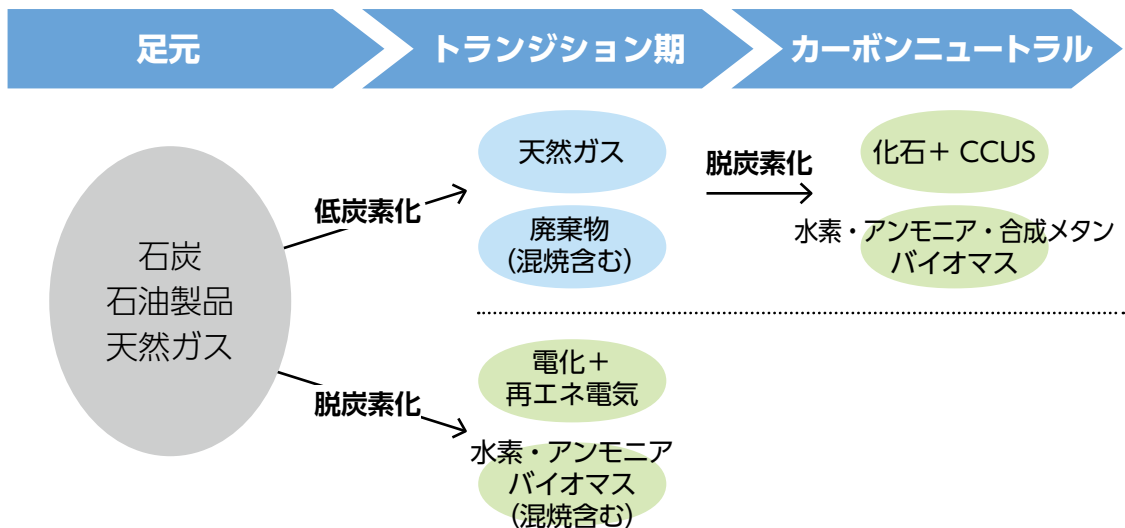
脱炭素化を「コスト」ではなく、「投資」と捉えた事業経営が浸透し、富山県の成長につながるよう、事業者の取組みを伴走支援します。



省エネの徹底、再生可能エネルギーの最大限導入、熱利用の脱炭素化

事業者ごとにエネルギー消費や設備の状況に応じ、技術の経済性や社会実装の進捗を踏まえ、適時適切な手段が選択・導入されるよう支援します。

産業・業務



企業のカーボンニュートラルへのイメージ

「富山型ウェルビーイング住宅（仮称）」の普及拡大

富山県の住宅の特徴を踏まえ、国の ZEH 基準の水準以上の省エネ性能を有し、快適さ・暮らしやすさを実現する「富山型ウェルビーイング住宅（仮称）」を新たに定め、ゼロ・エネルギー・ハウスの普及拡大を図ります。

省エネ機器の導入、エネルギー管理の徹底

高効率型の給湯器、照明、空調・動力機器のほか、エネルギー管理システム（HEMS）やスマートメーターの導入を促進します。

脱炭素型ライフスタイルへの転換

「カーボンニュートラル推進月間（10月）」を新たに設定するなど、県民一人ひとりの意識と行動の変容を促進します。



公共交通によるカーボンニュートラルへの貢献

地域交通サービスの利便性や快適性の向上、公共交通の利用機会創出、公共交通車両の脱炭素化などを推進します。



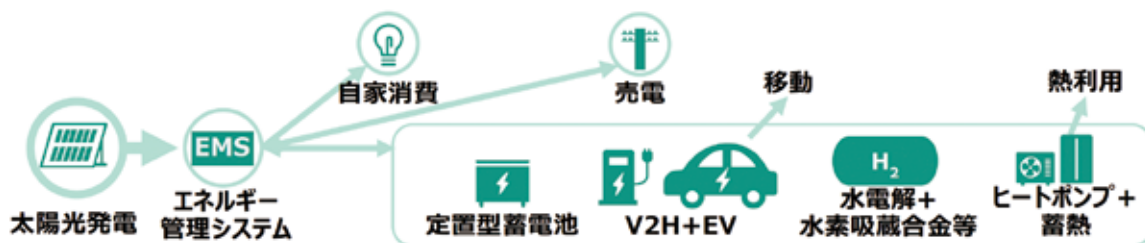
電動車の導入拡大

EVの導入や充電インフラの充実を促進します。



太陽光発電の最大限導入

自家消費型の太陽光発電設備の設置を促進します。また、太陽光発電の発電量に合わせた需給調整を目的として、太陽光発電設備とエネルギー貯蔵設備等（蓄電池、水素吸蔵合金、ヒートポンプ+蓄熱など）の併用を図ります。



小水力発電の導入拡大と地域活性化

富山県の豊富な水資源を活かし、小水力発電が迅速に最大限導入されるよう、関係機関が連携して施策を推進します。



再生可能エネルギー熱（地中熱、太陽熱など）の利用拡大

空調や給湯などの低温の熱需要に対して、太陽熱や地中熱などの再生可能エネルギー熱が利用拡大されるよう各施策を推進します。

戦略の推進体制・進捗管理

県、市町村、国、経済・民間団体など多様な主体の連携
温室効果ガスの排出状況及び施策の実施状況の公表

「富山県カーボンニュートラル戦略」の詳細はこちら▶

<https://www.pref.toyama.jp/100223/kensei/carbonneutral/senryaku/>



脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動

富山県のカーボンニュートラル戦略では、2030年度までに温室効果ガス排出量53%削減（2013年度比）を目指しています。

国でも2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、新しい国民運動を展開中！

今から約10年後、生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する、新しい暮らしが提案されています。

私たち一人ひとりも、10年後の脱炭素型ライフスタイルを意識しながら、それぞれのタイミングで実践していくことが必要なんだね！



国民運動特設ウェブサイトでは、脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿で示している取組みの節約額や時間メリットを紹介中！
例えば、住宅の断熱化は温室効果ガス排出量削減だけでなく、光熱費の節約、ヒートショック防止など、暮らしのメリットあるんだよ！ゼロカーボンアクション30ウェブサイトにも、暮らしの中のメリットが紹介されているので、こちらもチェック！



国民運動の特設ウェブサイトでは、脱炭素につながる新たな豊かな暮らしの全体像を知り、触れ、体験・体感してもらう様々な機会・場をアナログ・デジタル問わず提供しているよ。
また、企業・団体・自治体等による取組みが、特設サイトに登録され、見ることができるよ！キャンペーンの紹介などもあるから、チェックしてみよう！



| | |
|---|--|
| <p>1 テレワークなどの働き方、暮らし方での後押し</p> <p>デジタルも駆使して、多様で柔軟な働き方、暮らし方を推進しテレワーク、在宅勤務、ワーケーションなど</p> <ul style="list-style-type: none"> 協定・環境でテレワークが広がる環境の整備 遠隔へつなぐ技術環境を整える GREEN WORK STYLEの推進 テレワークによる二部制就業形態の推進 | <p>3 インセンティブや情報発信を通じた行動変容の後押し</p> <p>インセンティブや情報発信(表彰、表彰)を通じた行動変容の後押し</p> <ul style="list-style-type: none"> エコイシイDAY WEE K周知 ゼロカーボンウォーク 環境フェア・イベント 環境フェア・イベント |
| <p>2 豊かな暮らしを支える製品・サービスでの後押し</p> <p>脱炭素につながる新たな暮らしを支える製品、サービス提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境配慮した飲料 持続可能な素材を使用した商品 PETボトルのリサイクル リサイクル繊維 | <p>4 地域独自の暮らし方での後押し</p> <p>地域独自の(伝統、文化等に起因した)暮らし方の後押し</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域独自の(伝統、文化等に起因した)暮らし方の後押し 環境フェア・イベント 環境フェア・イベント |



富山県では、再生可能エネルギー、省エネ家電、電気自動車の導入支援を実施しているよ！ぜひ活用してみよう！

※各事業は予算の総額に達したときは、受付期間満了前でも受付を終了となりますので、必ずホームページをご覧ください。

太陽光発電設備等の導入をお考えの方へ

再生可能エネルギー導入促進補助金



富山県及び（公財）とやま環境財団では、太陽光発電設備（自家消費型）の導入や再エネ熱利用設備の導入に係る経費の一部を補助します。

対象者 ①県内在住の個人
②県内の事業者（中小企業等）

対象設備 太陽光発電設備（住宅）：7万円／kW（上限35万円）等
※蓄電池の同時設置に対し、最大25万円を上乗せ

詳しくはこちら

http://www.t kz.or.jp/saiene_hojokin/r5/index.html



省エネ家電の購入・買替えをお考えの方へ

とやま省エネ家電購入応援キャンペーン



富山県では、キャンペーン参加店舗で省エネ家電を購入された方にキャッシュレスポイント等を交付します。

対象者 県内在住の個人

対象製品 エアコン、冷蔵庫、LED照明器具（省エネ性能の基準を満たすもの）

詳しくはこちら

<https://toyama-shoenekaden.jp>



電気自動車の購入をお考えの方へ

富山県 EV 導入支援事業費補助金



富山県では、EV（電気自動車）を購入した個人・事業者等に1台あたり10万円を補助します。

対象者 ①県内の個人（個人事業者を含む）
②県内の法人
③リース事業者（①又は②と契約）

対象車両 国の「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金（CEV補助金）」の補助対象となる電気自動車

詳しくはこちら

<https://www.pref.toyama.jp/100223/kensei/ev/2023evhojo.html>



エコアクション通信 三協ワシメタル株式会社



企業の体幹を強化し、
持続可能な未来へ

とやま環境財団では、県内事業者の環境経営を支援するセミナーを今年2月に開催しました。

事例発表では、エコアクション21の認証・登録事業者を代表して三協ワシメタル株式会社様より、社員の「きづき」を環境経営に生かす独自の取組みについてご講演いただきました。その内容をご紹介します。

● 「きづきカード」制度で、賞金支給

弊社では、2009年に従業員全員からの「改善提案」を進めようと「きづきカード推進実施要領」を制定し、運用を開始しました。これは、一人ひとりが日々の業務で感じた困り事や改善につながる「きづき」を、会社全体の経営に生かす取組みです。

社員は、改善できると感じた「きづき」を専用のカードに記入し、改善策として考えたことや実践した内容と、算定した経済効果も書き添えて毎月提出することができます。その経済効果や独創性について社内審査が行われ、配点表に基づいた採点で賞が決定します。審査の結果は、翌月の全体朝礼で発表され、社員には、点数に応じて賞金が支給されます。

制度スタートから13年が経過した現在でも、毎月20件を超える提出があります。毎月一人何枚でも提出可能ですので、常連組も多数おります。また、審査内容により著しく効果があると認めた「きづき」については、その経済効果の5%を支給する特別賞を設けており、実際に受賞された方もいらっしゃいます。

カードはデータベース化され誰でも閲覧できるようになっていますので、社員の間に自然と「カイゼン」の循環が生まれているように感じます。



三協ワシメタル株式会社

<https://www.sankyo-washimetal.co.jp/>

エコアクション 21 認証・登録

2007年8月

- ・アルミ鋳造品及び精密機械部品を100%受注生産し、ニーズに対応。
- ・鋳造から熱処理、加工までの製造と開発を一貫して行うことが強み。



「きづきカード制度」について講演する
三協ワシメタル（株） 管理部部長 安多 広志さん
環境経営促進セミナー（2023.2.7 富山県民会館）



「きづきカード」の例

社員が感じた改善前の「きづき」は上の欄へ。改善策や実践した内容は、次の欄へ。社員は経済効果も算定し、提出する。

● 一人の「きづき」が、環境経営を促進

提出されたカードの半数以上は、製造現場からの声となっています。自社の製造工程には、高温の溶解炉で地金を溶かして、高圧プレスで成型するダイカストや砂型鋳造などがあり、電気やガスのエネルギーを多く必要とします。このため、小さな「きづき」でも、大きな省エネに繋がる可能性を秘めています。

これまでの改善では、機械加工時間の短縮やまとめ出荷が実現し、電気やガソリンの使用量を削減することができました。

これからも社員全員の声を大切に、環境経営に取り組んでいきたいと考えております。

【エコアクション 21】環境省策定のガイドラインに基づき、環境経営に取り組む事業者を認証・登録する制度。県内での認証・登録は、105社（R 5.3末）。



プラスチック資源循環

プラスチック資源循環法の施行から1年。
富山県内でも脱プラスチックへの動きがみられています。

宿泊にはアメニティの持参を！

黒部市にある黒部・宇奈月温泉宿「やまのは」では、4月から自然環境の負荷低減、サステナブルな社会の実現に向け、客室への設置を廃止し、チェックイン時にアメニティ使用の意思確認を行った上、必要な分だけアメニティバーからとっていただく方法に変更するなど、プラスチックの削減に取り組んでいます。総支配人の幸田さんからは「お客さまに安全・安心、快適に施設をご利用いただけるよう、サステナブル社会の実現に貢献していきたい。」とお聞きしました。



宿泊にはアメニティ持参することが当り前の社会になるよう、宿泊施設、利用者がともに取り組んでいくことがこれから必要なことと言えます。

プラスチックごみからごみ袋？

富山市にある廃棄物処理・リサイクル業の(株)富山環境整備では、家庭で集めたプラスチックごみを原料としたリサイクル材100%のごみ袋を開発。従来使用されてきた化石燃料由来のごみ袋と比較して、CO₂を58%削減でき、脱炭素に貢献。常務の松浦さんは「市民の皆さんのリサイクルの取り組みを見える形にしたいとの考えから、今回のごみ袋の開発に至った。」とその思いを語ってくれました。こうしたプラスチック資源循環の取り組みが広がるのが期待されます。



食品のローカル循環

食品ロスを削減するためには、まずは「使いきり」「食べきり」の実践が大切。それでも家庭に使い切れない食品や持て余している食材があるときには、「フードドライブ」に協力することで、手つかず食品の廃棄を防ぐことができます。「フードドライブ」は、そういった食品を必要としている人々に届けることができ、食料支援のひとつの手段として、県内各地で取り組まれています。今回、県内でモデルとなる9つの取り組みをまとめた事例集を作成しましたので、ぜひご覧ください。

パンフレットの
ダウンロードはこちら



それぞれの地域や実施主体の実情に応じたやり方でフードドライブを実施することにより、食品がうまく消費するしくみ(ローカル循環)が、県内各地で生まれています。モデルとなる取組事例をご紹介します。

アルビス株式会社
アルビスパコ店
株式会社ハローホールディングス
ハロー高岡本店
ハロー富田店

とやま食ロスゼロ戦

使いきり食べきりすっきりエコライフ

★とやま食ロスゼロ情報
食ロスに関する情報を発信していきます。
https://foodlosszero.jp/

★フードドライブ実施状況
市内のフードドライブ実施団体を掲載しています。(随時更新)
https://foodlosszero.jp/fooddrive/

★Twitter 最新情報
Twitter でも最新情報を発信していきます。#とやま食ロスゼロ
https://twitter.com/foodlosszero

もったいないから
ありがとうへ。

大切にたべようね！

フードドライブ
ローカル循環モデル事例集

フードドライブとは…
家で余っている食品を集めて、必要とする人々に届ける、みんなの実践につなげるしくみ

井波町 寺子クラブ・寺子こどもえん
寺子の利用者や地域住民の方々が、家庭で不要なものを持ち寄る仕組み。話し合いもあられ提供も期間に1回開催している。寺子こどもえんでも利用します。

入道町社会福祉法人連絡会
町内5つの社会福祉法人が入道町コミュニティセンターで協力を得て、フードドライブを実施しています。集まった食品は、入道町社会福祉協議会が発行するフードドライブカードで、地域内へ配布されている方に提供しています。

エコライフを築く市民の会高岡
高岡を元とし、青年会議所、環境保護青年会議所、山、芽、緑、スローフードが連携し、フードドライブを実施しています。会では、地域のいろいろな団体と手を組んで活動していることが大切に考えられています。

黒部市社会福祉協議会
フードバンクやフードドライブ、フードパントリーなど食料支援の取り組みを一気化し、食ロス、貧困、格差、SDGsなど様々な課題をハイブリットに解決するしくみの構築に向けて取り組んでいます。食の面からフードドライブを始め、福祉施設など福祉関係者に向けた移動サービスを活用し届けたい食品も発案中です。一緒に取り組むワークショップ開催を募集しています！

富山県内の取組事例

富山県 富山県民生活センター
毎月無料で開催するほか、常時店舗でフードドライブを実施しています。いただいた食品や食料などは、からがら運営するやまやまこども食堂の食料、子育て世代の配布、県外山出身の学生への配布に活用しています。

立山町社会福祉協議会
町社会福祉協議会と町民会と協働で、年に2回(春・秋)、町民や企業、福祉施設から寄せられた食品や日用品を配布しています。配布先は、福祉団体による給食・給費に活用していただき、高岡に立ち寄ることができる場所を目標としています。

小矢部市社会福祉法人連絡会
市内10の社会福祉法人が集まり、平成30年からフードドライブおやべとに年に1回開催を始めています。未開催は、協力団体での提供いただいた食品を自由に届けてお持ち帰りいただけます。

清川市社会福祉協議会
社会福祉協議会の窓口で食品を寄付していただくほか、地域のコンビニエンスストアや企業、学校から定期的に食品の提供をいただいています。集まった食品はフードパントリーや窓口所等、こども食堂、地域食堂などへ提供しています。

富山県生物多様性保全推進プランを改定しました。

令和5年3月に、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本的かつ総合的な計画である「富山県生物多様性保全推進プラン」を改定しました。

富山県の現状を踏まえ、人と自然とが共生する社会の実現を目指して、各種の施策を推進します。

【計画期間】 令和4年度（2022年度）から
令和12年度（2030年度）まで



プランが目指す富山県の生物多様性の姿
「2050 富山ビジョン」

理念

「立山連峰から富山湾まで
人と自然が共生する幸せとやま」

プラン全文は、富山県ウェブサイトからご覧ください。

富山県 生物多様性

検索

フードドライブに協力しませんか？

フードドライブとは、家庭で余っている食品を福祉団体等に寄付する取り組みです。食品ロス削減だけでなく、生活困窮者等の支援にもつながりますので、皆様のご協力をお願いします。



①フードドライブ実施を検討している皆様へ

県では、フードドライブ実施に必要な資器材（のぼり旗、コンテナボックス等）の貸出しを行っているほか、実施状況を県HPでPRしていますので、ぜひご活用ください。

②食品を寄付いただける皆様へ

県HPなどで、各団体が集める食品の条件をご確認のうえ、ご家庭で寄付いただける食品があれば、ぜひご協力ください。



HPはこちら→

宅配便を1回で受け取りませんか？ 再配達防止でエコ&社会貢献！

近年のインターネット通販の拡大などにより、宅配便が急増し再配達が増え、二酸化炭素排出量の増加や宅配ドライバーの不足などが問題となっています。このため、県では今年度も引き続き、関係団体と連携し、チラシ配布やウェブサイト等により、宅配事業者の発送通知、コンビニ受取り等のサービスや宅配ボックスの利用について普及啓発を行うこととしています。

社会問題となっている再配達の削減に向けて、ライフスタイルに合わせた受取方法の選択をお願いします。

一人ひとりができること…こんな「受取方法」があります！

配達前に都合のいい【時間】を指定



※パソコンやスマートフォンなどで、時間や場所の指定変更を行うことができるサービスがあります。

あらかじめ1回で受け取れるよう【場所】を指定



玄関前に置いてもらう！
宅配ボックスや置き配を利用する



帰りにコンビニで受け取り！
帰りにコンビニや宅配業者の営業所で受け取る

富山 宅配便 1回

検索

お知らせ

あなたの「まち」にエコ・ラボがおじゃまします。

富山県環境科学センターでは、「見て」・「ふれて」・「学ぶ」施設「かんきょうがくしゅうしつ環境楽習室エコ・ラボとやま」を開設しています。

もっと多くの皆さんにエコ・ラボを体験していただくため、あなたの「まち」におじゃますることになりました！

◆事業内容

① 出張エコ・ラボ

地域の環境イベントなどで「デジタル四次元地球儀（ダジック・アース）」の展示や実験・工作ブースを出展します。

② サテライトエコ・ラボ

地域のエコ・ラボ見学施設などに「デジタル四次元地球儀（ダジック・アース）」セットを貸出展示します。

展示先が決まり次第、県のウェブページなどでご案内します！

多くの皆さまのご来場をお待ちしております。



デジタル四次元地球儀

◆お問合せ先 富山県環境科学センター 大気課 (TEL:0766-56-2835)

「環境楽習室エコ・ラボとやま」へもどうぞ

いつでも誰でも気軽に訪れることができるよう平日は常時開館しておりますので、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。(10名以上の団体の見学は、事前予約をお願いします。)

場 所 射水市中太閤山17-1 (富山県環境科学センター内)
開館時間 9時から16時30分まで (土・日・祝日、年末年始は休館)
お問合せ TEL 0766-56-2835
U R L <https://www.pref.toyama.jp/1730/kurashi/kankyoushizen/kankyou/kj00022729/index.html>



HPはこちら→

令和5年度ナチュラリスト養成講座開催中！

県では、自然環境の保全や自然保護活動の普及啓発を図ることを目的として、昭和49年に全国に先駆けて富山県自然解説員（ナチュラリスト）制度を創設し、現在、立山地区（室堂平、弥陀ヶ原）、称名地区、ねいの里地区、頼成の森地区の4地区5箇所において自然解説活動を行っています。

今年度、3年に一度のナチュラリスト養成講座を開催し、新たなナチュラリストを養成しています。今回、講座のテーマに海洋汚染の現状、生物季節調査、地球温暖化防止の3つを追加したほか、現地研修のスケジュールも拡充いたしました。

ナチュラリストの輪がさらに増えることを期待するとともに、県民や国内外から訪れる観光客に富山県の自然のすばらしさを伝え、その保全の必要性についての理解を深めてまいります。



今年度の養成講座の様子



室堂平現地実習

県内各市町村の取組みの紹介(滑川市)

滑川市は富山県の中央部からやや東北よりに位置しており、春の訪れを告げる龍宮からの使者「ほたるいか」や、天然ミネラルが豊富な「海洋深層水」は、今では滑川の名を全国へと知らしめ、越中とやまの薬売りで知られる「家庭配置薬」はいにしえより現代へ受け継がれ、劔岳から早月川を流れる豊かな水資源を利用した工業は、市民1人当たり工業出荷額の県内最上位をもたらしております。

滑川市は今年、市制70周年を迎え、はずれがない、期待を裏切らない、「すべらない街 滑川市」のキャッチコピーのもと、さらなる成長、発展を目指しています。



市民参加型の取組み

- 市民、事業者、行政が一体となって、ごみや地球温暖化等の環境問題について考え、実践していくイベント「環境フェア」を毎年実施しています。
- 市制70周年記念として、市民参加型で一斉清掃活動を行う「クリーンアップなめりかわ2023」を令和5年7月23日を基準日として実施しました。
- 滑川市環境美化促進条例のもと、快適な生活環境の保全と清潔で美しいまちづくりの実現に向け、定期的な草刈りなど土地の適正な管理にご協力をお願いしております。



環境学習

- 地球温暖化防止の意識の高揚を図るため、市内小・中学校の児童を対象に、「エコポスター」のコンテストを実施し、応募作品は市内ショッピングセンター、環境フェア等に展示し、市民へ地球温暖化防止の啓発を行っています。
- 夏休み期間中、放課後児童育成クラブの児童を対象に、「滑川市エコクラブ事業」として環境に関する講演や体験型授業を実施しています。
- 地球温暖化、海洋プラスチックごみなどによる地球規模の環境変化が自分たちの生活と密接に関わり合っていて、一人ひとりが身の回りの環境に関心を持ち、環境保全に努める必要があるということ、小学生のうちから学ぶため、海岸漂着物及びごみの分別についての出前授業を実施しております。



小泉美江子さん(富山市)

①活動を始めたきっかけは？

仕事の関係で、COP3 京都議定書による温室効果ガスの排出量削減目標に興味を持った事がきっかけとして、とやま環境財団での一般家庭CO₂ 排出量削減事業「うちエコ診断」にふれ、地球温暖化防止活動推進員の活動を知り参加しました。

②チャレンジ10やエコライフ教室を行うにあたり気をつけていることなど

「チャレンジ10」の授業で気を付けていることは、4年生の子どもたちにとってできる限りわかりやすい内容でと、写真や動画、具体的な例を交えて説明をするようにしたり、45分間子どもたちが飽きないように、全員が楽しみながら参加して発言できるようクイズやカード遊びを多く取り入れたりしています。毎日の生活の中で問題意識をもって、家族と共に実行できるようにしてほしいと思っています。

③今後、どのようなことを伝えたいですか？

SDGsには、気候変動や環境保護に関するものが含まれ、地球温暖化防止に向けた取り組みを進める上で重要な役割を担っています。SDGs エducatorでもある私としては、17の目標の一つ「12 つくる責任・つかう責任」の取組み「エシカル消費」をテーマに、子どもたちには未来を担う一人として持続可能な消費行動の取組みの大切さを伝えていきたいと思っています。



出村 尚子さん(氷見市)

①活動を始めたきっかけは？

7年前、「環の会」の代表Nさんに出会い、「環の会」で小学生と身近な川のすこやか調べなどの活動に参加しました。その時の子どもたちのキラキラした瞳と、「環の会」のどこにでもいそいそおじさん、おばさん(実はすごい人たち!)が、真剣に環境保全について考える姿勢に魅かれて、この推進員になり、チャレンジ10やはじめてのエコライフ教室にも参加しています。

②気を付けていること、または気づいたことなど

聞く人(小学4年生、保育園児)がわかる言葉を使って説明し、地球温暖化の不安を煽るのではなく、今ある環境を大切にしようという、明るい姿勢で話すように気を付けています。なかなか難しいです。

③今後はどのようなことを伝えたいですか？

私は氷見市自然保護員という活動もしています。各地区の素晴らしい自然環境を紹介しながら、地球温暖化防止活動の大切さを伝え、海の生き物、山の木々、花、鳥、虫など自然について勉強する楽しさを伝えていきたいです。



チャレンジ10:とやま環境未来チャレンジ

県内の10歳の児童(小学校4年生)が、地球温暖化問題を学び、家族とともに家庭での対策を実践・自己評価するという一連の取組み

はじめてのエコライフ教室

県内の幼児とその保護者を対象に、省エネやごみ分別等のエコライフについて授業を行い、学んだことをもとに幼児が家庭でエコライフを1週間実践し、継続していくことで、幼い頃からのエコライフの理解・定着を図る事業

ナチュラリストの目から見た「有峰地区」の魅力の紹介

有峰の魅力はなんといっても 人が住める限界とも思える自然環境とそこに生きてきた有峰人の共生の歴史。その歴史と豊かな自然を永遠に引き継ぐための有峰憲章です。このことは、単に有峰地区に留まらず、日本さらにはグローバルな「環境と人との共生」の原点になるといえます。



有峰の地形



遊歩道マップ

有峰の歴史

有峰は薬師岳の麓、標高約1,000mの盆地で積雪が4mを超えることもある、県内最奥の村落でした。1920年（大正9年）に電源開発を目的に県有地として全村が買い上げられ、平家落人伝説がある村は解散。工事の中断を経て1960年（昭和35年）に有峰ダムが完成しました。ダム湖周辺の林道や遊歩道が整備され、2002年（平成14年）に有峰森林文化村が開村しました。



有峰湖



湧水期のみに見える畑の跡。
寒冷で米はできず稗やそばなどを主食としていました。

有峰森林文化村憲章

有峰森林文化村は、有峰の、水と緑といのちの森を永遠に守るために開村。

その目的を達成するために、次の「有峰森林文化村憲章」が定められ、さまざまな活動がなされています。

1. 森の息吹きに触れいのちの循環を学びます。
2. 生き物が気ままに住める環境を守ります。
3. 森の恵みと人の営みを語り継ぎます。
4. 森を見つめて自分を見つめなおします。
5. 有峰を愛する人の輪を世界に広がります。



水と緑といのちの森を永遠に
有峰森林文化村

有峰狛犬

有峰村東谷宮の社殿に置かれていたもので有峰村の文化の一端を知ることができます。



富山市大山歴史民俗資料館（富山市亀谷）



どねがどねだか
わかるかな？



「有峰狛犬」

大山歴史民俗
資料館でまっ
ているよ!!

ブナ&ミズナラの森に生きる多様な生き物

標高1,000～1,400m前後の有峰一帯の森林は、植物の垂直分布のブナとミズナラなどを主とする山地帯に属し多くの生き物を育んでいます。

森に彩りを添える花々：700種あまりの植物が確認されています。



アケボノソウ



ソバナ



シロツリフネ



クガイソウ



ダイヤモンドソウ



ヒオウギアヤメ



ヤマオダマキ



サラシナショウマ



キンミズヒキ



ササユリ

森を飛ぶ鳥の仲間：90種あまりが確認されています。



ノスリ



ヒガラ



ゴジュウカラ



オシドリ



ハチクマ



オオルリ



イワツバメ



アカゲラ



キビタキ



サンショウクイ

森に舞うチョウの仲間：県内で確認された125種のうち100種あまりが確認されています。



ウラギンヒヨウモン



ツマジロウラジャノメ



ウスイロオナガシジミ



キベリタテハ



ジョウザンミドリシジミ



ヒメシジミ



ギフチョウ



コキマダラセセリ



ミスジチョウ



アサギマダラ

有峰を訪れるにあたって 安全対策や入山マナーが必要です。詳しくは有峰森林文化村にお尋ねください。

有峰の魅力は一回来ただけではわからない。定期券はありませんが、お得な有峰林道の通行回数券を使って、あなたも村民になりませんか。

HP：「ありみネット」 arimine.net

(資料提供：有峰森林文化村、富山市大山歴史民族資料館)
〈富山県自然解説員 石黒秀雄〉

とやま環境財団への寄附

ご厚志ありがとうございました。とやま環境フェアの開催など、富山県における環境保全活動の推進に役立てます。(令和4年11月～令和5年5月受取分)

| ご芳名 | 摘要 |
|---|---|
| 藤井 美保子 様 | |
| (株) メガスポーツ 様 | レジ袋無料配布廃止に伴う収益から |
| (株) 平和堂 様 | 「みんなで地球の“きれい”を考えよう」キャンペーン期間中の花王ブランド対象商品の売上金から |
| (有) リカーズ (吉田酒店) 様 | プライベートブランド日本酒の売上金から |
| (株) 北陸銀行 様 (株) ホクタテ 様 北陸コカ・コーラボトリング (株) 様 | 支援自販機に関する協定に基づき、北陸銀行関連施設に設置された自販機の売上金から |
| (株) 富山環境整備 様 | 廃プラスチック 100%を活用したごみ袋の寄附 |
| イオンペット (株) 様 | レジ袋無料配布廃止に伴う収益から |
| 北陸電力 (株) 様 | 会員サービス「ほくリンク」会員様が「ほくリンクポイント」の当財団寄附への交換を申し出いただいたもの |

賛助会員募集中

当財団の目的に賛同し、活動を支援して下さる企業、個人の方を募集しています。申込方法はこちら <http://www.tkz.or.jp/mailmaga/gaiyou01.html>



(公財)とやま環境財団の設立の目的

環境に関する情報の収集・提供、環境保全活動や環境教育の推進、地球温暖化対策の推進に関する事業を行うとともに、県土美化、廃棄物の減量化、地球温暖化防止の県民運動等地域に根ざした環境保全活動を展開することによって、美しく住みよい富山県の創造に寄与すること



<ご感想・ご要望のお願い>

今回の機関紙「きょうせい」の内容はいかがでしたか。掲載記事へのご感想やその他ご要望などをお寄せください。ご回答は二次元バーコードを読み取り、専用フォームに入力をお願いします。回答いただいた方の中から抽選で3名様にQUOカード(500円分)を進呈します。是非、ご協力をお願いします。



<表紙写真>

標高977mの立山美女平を歩くと、樹齢200～300年のブナの原生林や、樹齢1000年を超えるといわれているタテヤマスギの巨木を見ることができる。そこでは、世代を重ね、先代や先々代のスギが土に還り、根元に人が通れるくらい大きな洞が空いたスギ、幸運にも雪解けが少し早い切り株の上で芽生えた植物、にぎやかな鳥たちのさえずり、コケやキノコなどの森の分解者が、人知れず共生のネットワークを築いて生きている姿を見ることができる。

公益財団法人 とやま環境財団

富山県地球温暖化防止活動推進センター、エコアクション21 地域事務局
〒930-0096
富山県富山市舟橋北町4-19 (富山県森林水産会館内)
TEL: 076-431-4607 FAX: 076-431-4453
ホームページ: <http://www.tkz.or.jp>
E-mail: tkz8@tkz.or.jp



▲二次元バーコード

- K 子どものころから
- Y よく遊んだ山や川
- O おいしい水と
- S 澄んだ空
- E 越中富山の美しい環境を
- I いつまでも残そう



エコインキの認定を受けた大豆油インキを使用しています。



環境保全のため、再生紙を使用しています。